

|| “不知道” だけでは困ります

そりゃー、知らなければ仕方ないですけど、何か尋ねられて、“不知道” の一言で終わってしまっただけでは、しらけた空気が流れるかもしれませんね。

そこで、こんなパターンを用意していても、損はないと思います。

【我也不知道，但是我想…：私も知りません/分かりませんが、…だと思えます】

日常のコミュニケーションを図るのに、必ずしも正しい回答でなくてもよいのです。

例えば、何々はどこで買えるかと聞かれて、たとえ知らなくても、最低このように言えば、会話が次のステップに進展するかもしれません。

我也不知道，但是我想 DAISO 可能有。(私も知りませんが、ダイソーにあるかもしれません)

想像の意味を含んだ“想”に、自信なげな“可能”を加えてみました。可能性を上げるなら、“可能<大概<一定”「かもしれない<たぶん<きっと」のバリエーションもありますし、“应该”(…のはずだ)ぐらいを使い分けられれば十分かと思えます。さらに文末に推量の“吧”を付け加えてもいいですし、言い換えもまだまだありますが、この種のもは、まず一つのパターンを確実にマスターすることが大切です。

ちなみに、初級会話クラスの中国語を聞いていると、今回のような“也”が入らない人は意外に多いのです。おそらく習熟度が低く気持ちに余裕がないからでしょう。“也”がなくても間違いではありませんが、自然に入るか否かは初級スピーキングレベルの目安になります。

外国語のスピーキングは、一つでも多くのパターンを持っていると心強いので、少し長いですが、よどみなく言えるまで反復練習して下さい。

練習問題

【我也不知道，但是我想…】を使って、中国語に訳して下さい。

- 1) 私も分かりませんが、彼は来ないかもしれません。
- 2) 私も分かりませんが、たぶん1万円ぐらいだと思います。
- 3) 私も知りませんが、彼は40歳は知っているはずですよ。